

相双（相馬・双葉）地域「こども病院」建築計画  
企画書



「こどもの、こどもによる、こどものための病院  
・・・とすら呼べないような楽園」  
のために

企画：(財)相双未来基金 代表・河村 真  
mail: [info@nomaoikids.org](mailto:info@nomaoikids.org)  
2014.10



## Background

3.11以降、福島復興に医療の面からサポートするべく、福島へ移り住んだ医師が肌で感じているのは、人手不足・医師不足。中でも相双地域には常勤の小児科医すら、ほとんどいない、という現状です。

地震・津波の影響で陸の孤島となっているこのエリアも、少しずつ復興が進み、交通アクセスも回復しつつあります。

だから  
今こそ、

- ・地域の復興の一端を担い
- ・地域の子ども達を守り・育み
- ・地域を支える医療の発信地となる

# こども病院を！

目指すビジョンは・・・

こどもの、こどもによる、  
こどものための病院  
・・・とすら、よべない楽園

例えば、

パッチ・アダムスの **Gesundheit Institute**  
病気の子も病気でない子も、  
集まって楽しめる空間です。



©相双ビューロー

パッチ・アダムス (Patch Adam) アメリカの医師。クラウンドクター。  
ロビン・ウィリアムズ主演の映画「パッチ・アダムス」の实在モデル。  
ホスピタルクラウン、クラウンドクターを始めた人。(ホスピタルクラウン：病院などで笑いで心のケアをする道化師)  
ウェストバージニア州に自分の目指す医療の実践のための病院「ゲズントハイト・インスティテュート」を設立。  
現在は新たに総合医療の全般とヘルスケアの病院としての「ゲズントハイト・インスティテュート」の建設を目指している。

長期ビジョンをもった  
魅力的な病院があれば、  
やる気のある医療スタッフが  
必ず集まります！

運営について

民間資金（県民からの寄付を含む）  
を中心に財団を設立し、  
民間で運営します。

2014.10 一般財団相双未来基金設立



## 2. 事業プラン

## 相双（相馬・双葉）地域「こども病院」建築計画

小児科医 5~6 名  
 (うち 2~3 名は新生児科経験者)  
 小児外科医 2~3 名  
 による、最先端の小児科・小児外科

### 1次・2次診療

### 最高の2次医療 + 機動性

3次医療機関との密接な  
リアルタイム連携



ドクターヘリ  
※6



ドクターカー



テレカンファレンス

### アクセス

常磐線の駅近く  
常磐道のIC近く  
仙台空港とのアクセス良好

## 福島県で唯一の「こども病院」

宮城県に次いで、東北で二番目

### 小児科外来

1~2列。24時間対応 ※1

### 小児外科

腹腔鏡・胸腔鏡手術を含め、  
最難関以外の手術をほぼカバー ※2

### 小児救急 (ER)

2次までの外傷をすべて扱う ※3

### 小児科病棟

20~30床。うち HCU4床 ※4

NICU10床+GCU10床 ※5

成人の総合病院とブリッジ(地下通路)  
でつなぐ

### 半独立型こども病院

産婦人科をもつ病院と連携し、  
相双地区唯一の

### 地域周産期医療センター

病児保育  
入院病児家族用の宿泊施設  
病児・障害児家族のための  
レスパイトサービス



### 付属施設

#### ➡ 丘の上のこどもの遊び場

こどもたちが探して遊ぶ、キャラクターの住む小さなおうち。  
(ジブリ、ディズニー、ドラえもん etc の既存のキャラクターを  
誘致。もしくは、オリジナルキャラクターを作る。)  
野馬追陣屋(もより駅と「丘」をつなぐ人力車を備える)  
寺子屋、天文台(星見台)屋外 LIVE 用ステージなども。

#### ➡ 地下病院ともより駅をつなぐ地下街

高橋亨平記念図書館、シネマコンプレックス  
温泉・リラクゼーション、トレーニングジム(±プール)  
市立養護学校・のまおいけ丘分校  
大ホール、非常用食料等 備蓄倉庫、災害避難所(津波・放射能)  
などなど、、、

- ※1 夜間2次救急は365日開設
- ※2 腹腔鏡下ヘルニア根治術等、年間100~200件で開始
- ※3 3次は原則搬送(非常時には3次も対応できる備えをしておく)
- ※4 HCUは呼吸器管理や血液透析管理も可能レベル(PICUは設置しない)
- ※5 当面、30週以降を対象とするが、人員・設備とも必要時には22週~の診療ができる備えをしておく
- ※6 双葉ヘリが着陸できる高規格ヘリポート



### 3. デザイン計画

## 相双（相馬・双葉）地域「こども病院」建築計画

#### 建築デザイン

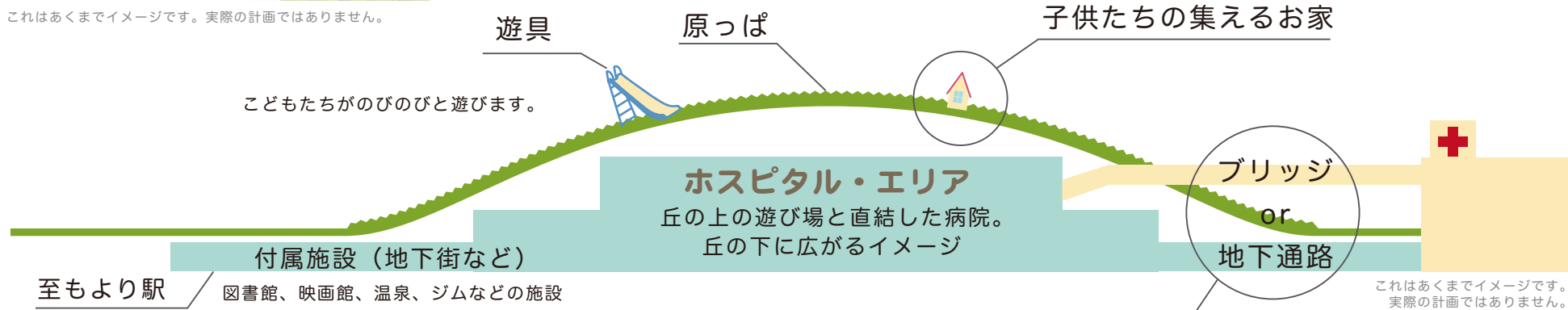
丘の下に広がる病院のイメージ。  
病院である事と同時に子どもたちが  
集まる場所を創出します。

イメージ図：



©michiya nakanishi

これはあくまでイメージです。実際の計画ではありません。



#### VI計画

ヴィジュアル・アイデンティティ

#### アート計画

心地よい環境づくり、不安を和らげ心をいやす親しみ感の創出に、  
ホスピタルアート、VI、インテリアなどを総合的に計画していきます。

VI計画として、例えばロゴを、  
野馬追、九曜など、地域の人々の心の絆をキーワードにデザイン。

アート計画の一環として、  
こどもの遊ぶ丘の上の広場に、キャラクターのお家  
といったパビリオンの設置を企画。  
賛同いただける既存のキャラクターの誘致をはじめ、  
野馬追などをキーワードにオリジナルキャラクターの  
創造等も検討していきます。

ロゴ案例：



#### 環境・ソフト面

附属施設の選定、運営方針等の検討をおこないます。  
病院と附属施設の橋渡し、連携しての情報発信などを通して、人を呼び寄せます。  
地域とつながりながら、病院・施設自体が育っていく環境をデザインしていきます。

事例：

自治医科大学附属病院

とちぎ子ども医療センター

埼玉赤十字病院

埼玉県立小児医療センター